

## 認知症の理解 I

担当教員 吉岡 久美

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

認知症に関する基礎的知識を習得すると共に、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、生活支援の視点を習得する学習とする。

## 【授業の展開計画】

認知症を取り巻く状況や、医学的側面から見た認知症の基礎について学習する。認知症に伴うこころとからだの変化を理解し、日常生活における変化と支援についての知識を習得する。

週	授 業 の 内 容
1	認知症ケアの歴史と理念、認知症になった人の数の推移などの現状を知る
2	認知症に関する現在の支援対策を、報道等をもとに理解する
3	中核症状による生活困難を知る
4	BPSDによる生活困難を知る
5	認知症と間違えられやすい症状を理解する
6	認知症の原因となる疾患の症状とその特徴を理解する
7	認知症に対する検査・治療・予防を知る
8	若年性認知症の理解（DVDなどの教材をとおして）
9	認知症の人の生活の変化を理解する
10	認知症の人の心理的影響、行動障害の理解と対応
11	認知症の人の行動障害の理解と対応（事例をとおした演習）
12	周辺症状の背景にあるこころの理解（不安、孤独など）
13	認知症の事例検討（演習）
14	認知症に関する検査、診断、治療をもとに、生活を支える視点について総合的に理解する
15	認知機能が低下した人の人権をまもる成年後見制度をはじめとした制度の理解

## 【履修上の注意事項】

事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んてくること。  
事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。

## 【評価方法】

試験やレポートの評価基準など 試験：60% 演習課題：30% 受講態度・演習へのとりくみ：10%

## 【テキスト】

新・介護福祉士養成講座 第12巻 認知症の理解（中央法規）

## 【参考文献】

認知症の理解（ミネルヴァ書房）